発行日 令和元年8月13日
通巻 第161号

Spotlight
スポットライト

世界クラシックパワーリフティング選手権大会2位
小野雅史さん

世界大会2位の結果に恥じないように記録を伸ばし続ける努力を

profile
昭和53年8月30日生まれ。パワーリフティングを始めてからは、パワーリフティング中心の生活になっている。虻田6区在住。40歳。

「世界2位という自分でも驚くような結果となったので、挑戦して本当に良かったです。日本に帰ってきてから周りの人がすごく祝福してくれて、素直に嬉しいです」

6月6日にスウェーデンで行われた、「世界クラシックパワーリフティング選手権大会」の59キロ級に出場し、2位に輝いた小野雅史さん。今大会が世界大会初出場で、満足の結果に喜びの笑顔を見せます。

小野さんは洞爺湖町出身で高校を卒業後、地元を離れましたが、20代半ばでUターン。現在までさまざまな職種を経験してきました。

「高校生くらいの時から、男らしい体つきに憧れていました」と若い頃から筋力トレーニングに励んでいましたが、あまり努力が実らず悩んでいたところ、29歳の時、通っているジムでパワーリフティングの競技者と出会い、筋力トレーニングの方法を教えてもらいました。

その半年後に、その人の勧めで、パワーリフティングの大会に初めて出場。他の出場者への記録に対し、感心する気持ちと悔しさを覚え、パワーリフティングにのめり込んでいきました。

競技を始めて約11年、目標としていた世界大会出場の切符を手にしました。「突然の知らせで驚きましたが、周りの皆さんが背中を押してくれました」と出場を決意。

「国内の大会と会場の規模が違うので緊張感が高まり、自分の出番が近づいてくると気持ちが高揚しました」と世界大会の異様な雰囲気を肌で感じながらも、自分の実力を発揮し、しっかり結果を残しました。

「今回の結果に恥じないように、記録を伸ばし続ける努力をしていきたい。安定して勝ち続ける実力をつけて、再び世界大会に出場し、世界1位を目指す」と今後の目標を語り、トレーニングに励みます。

東奔西走

サマーフェスタの最後を飾る水中花火108連発。写真で108連発を表現するのは難しかったですが、とてもきれいでした。(C.K)

町内では夏まつりや夏のイベントが続々と開催されています。夏と言えば、みなさんは何を思い浮かべますか？私はやはり「ビール」です！（笑）これからもおいしいビールが飲めるように日々精進していきたいです。(M.O)

今月のワンショット

洞爺中学校1年生の自然体験学習
ウチダザリガニ防除体験授業

■編集・発行／洞爺湖町総務部企画防災課 広報統計グループ 〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地
☎0142-74-3004 FAX0142-74-2121 ホームページアドレス http://www.town.toyako.hokkaido.jp/ ■印刷 文栄堂印刷

UD FONT by MORISAWA